



なる せ そう た  
成瀬 壮太

生年月 1992年3月大阪府生まれ  
最終学歴 2016年大阪市立大学  
大学院工学研究科  
都市系専攻修了  
業務経歴 2016年(株)大建設計入社  
現在、第3設計室  
●担当した主なプロジェクト  
2017年 三郷町立三郷中学校  
2018年 加東市立東条学園小中学校  
2019年 長岡京市新庁舎  
2020年 貝塚市新庁舎  
2021年 埼玉県の社員寮  
2022年 静岡県のオフィス  
愛媛県のダンボール工場  
福井県のゼロファン工場  
2024年 奈良県のキャップ工場

■青年技術者のことば

○設計活動に対する思い

2016年に入社し、学校や庁舎、社員寮やオフィス、工場などの設計に携わり今年で10年目となりました。設計活動においては、「敷地の魅力を最大限に生かすこと」「関係者と対話を重ねること」「挑戦と修正を繰り返すこと」を心掛けています。

○建築設計の魅力

建築設計は大変奥深く魅力のある仕事だと感じています。1mmのチリ寸法から数100mの外観デザインや数万㎡の配置計画など、扱うスケール感の違いに最初は戸惑いましたが、それら全てを計画できる楽しさがあります。また、1つの建築ができるまで早くて数年、長ければ10年を超えるような時間が掛かるため、計画段階では落書きやスケッチなど一人の頭の中で考えていたことが、気づけば何十人、現場が始まれば何百人もの人が関わり、竣工と言うゴールに向けて一丸となって邁進するといったロマンがあります。そして、竣工後には様々な人が建築を利用し、居心地よく過ごすことや、時には災害から生活を守る役割もあり、社会的に大変意義のある仕事だと感じています。

○将来への展望

どんな建築もその本質は変わらないと考えています。学校であれば子どもたちが学ぶ環境、社員寮であれば居心地よく暮らす環境、オフィスであれば動きやすい環境が求められます。そのような本質を捉え、目まぐるしく変化する社会情勢、複雑化・高度化する建築設計に対応し、より良い建築・環境づくりを目指していきます。

■すいせん者

霜出 浩  
(株)大建設 大阪事務所  
第3設計室長

加東市立東条学園小中学校



川に寄り添うような配置計画



水平基調の北面ファサード



開放的な普通教室と多目的スペース



明るく風通しの良い図書室

埼玉県の社員寮



緑豊かなアプローチ空間



広々としたエントランスホール



自然採光を取り込む食堂

静岡県のオフィス



富士山をモチーフとした庇・ファサード